

# 子どもの歌唱表現に関する一考察

## — 保育者養成校に求められるもの —

高橋摩衣子

内山 尚美(東海学院大学短期大学部)

### 第1章 教材研究の視点から

#### 1. はじめに

歌は、幼稚園や保育所での子どもの生活に欠かすことのできないものであり、保育者、すなわち幼稚園教諭及び保育士には、子どもの発達段階や好みや季節など、その時々の子どもの様子に合わせた歌を提供できるだけの幅広いレパートリーの知識が要求される。

本学は、幼稚園教諭や保育士を養成しており、授業の中では楽譜集を教材として用いてたくさんの楽曲を学生が学ぶことのできるよう指導している。しかしながら、特定の教材にのみ基づいた授業では刻々と変化する子どもの歌の潮流に対応することができないため、何らかの方法でレパートリーを補う必要がある。では、どのような楽曲を取り入れればよいだろうか。子どもたちが園や家庭で歌に触れるメディアとして、テレビ、CD、DVD、インターネット、楽譜集などが考えられるが、今回は市販のCDを手がかりに考察することを試みた。

#### 2. 子どもの歌のCD

筆者は、以前レコード会社に勤務し、子どもの歌のCD制作を担当していた。その経験をふまえ、本節では制作者が商品をどのようにとらえて商品内容を決定しているかを論じ、保育者養成課程で参考にすべきなのどのようなCDかを考察する。

##### (1) 用途による分類

多くの子どもの歌のCDは、子どものいる家庭で娯楽のために聞かれることを想定している。いわゆる童謡を収録した商品が多いが、商品のコンセプトによっては、テレビ番組の歌など流行の歌を集めたものや、あそび歌を集めたもの、英語学習のためのものなどがある。家庭での娯楽を想定したCDといっても、幼稚園や保育所でクラスの子どもたちが楽しんだり、保育者が歌唱の参考用に用いたりといった活用もなされている。

一方で、幼稚園や保育所、小学校などの保育・教育現場での使用に特化した商品がある。主なものに、運動会

や卒園・卒業式などの行事で使用するCDや、教科書準拠の音源集などの教材商品がある。

##### (2) 想定されるリスナーによる分類

一般家庭で聞くためのCDは、子ども及びその家族(特に母親)が聞くために作られることが多い。その他にも、高齢者に向けて作られる商品もある。収録楽曲が類似している商品でも、前者は「どうよう」「こどものうた」とひらがなでタイトル表記をすることが多く、後者は「童謡」「唱歌」と漢字でタイトル表記をすることが多い。

##### (3) 歌い手による分類

子どもの歌の商品は、CDのみならず、映像商品や書籍(音の出る絵本、CD/DVD付き書籍など)においても、歌い手ではなく収録曲目が重視されることが多い。一方で、著名な歌い手が自身の作品としてアルバムCDを発表するケースもある。彼らは、子ども及びその家族に人気な歌手と、保育者に人気な歌手とに大分される。

##### (4) タイアップ

テレビの幼児番組やアニメ番組とのタイアップ商品は、上記のように用途、リスナー、歌い手の組み合わせを考えながら作られる商品とは全く違う方法で作られる。人気アニメの主題歌や人気のある幼児番組で紹介される歌が幼児の歌のレパートリーに大きな影響を与えていることは事実であるが、タイアップ商品は他のCDとは大きく性質が異なるため、本論文では扱わない。とはいっても、テレビ番組から生まれた歌が一時の人気にとどまることなく定番化した際には、他の商品にも組み込まれていくため、本論文で扱う楽曲にもテレビから生まれた歌が多く含まれている。

### 3. 収録楽曲の分析

現在、子どもの歌のCDを製造している主な日本のレコード会社は、日本コロムビア及びキングレコードである。この二社は、ホームページ上にも「キッズ」や「キッズ／ファミリー」といった商品カテゴリーを設け、積極的にプロモーションを行っている。他にも、日本クラウンも時折子どもの歌のCDを発売している。今回は、こ

れら三社の商品から分析対象の CD を選ぶこととした。ちなみに、エイベックス、ワーナー等は、子どもに向けたタイアップ CD をリリースすることはあるが、純粋な童謡の CD をリリースすることはない。BMG や EMI といったレーベルも子どもの歌の CD をリリースしていたが、現在は会社が存続していない。ビクターエンタテインメントも、かつては教材商品を中心に積極的に制作を行っていたが、昨今ではあまり手がけていない。EMI を吸収したユニバーサルミュージックが子どもの歌の制作に着手し始めているが、まだ商品数はあまり多くない状況である。

本論文の目的は、市販の CD の収録曲を分析することで子どもの歌の流行をとらえて保育者養成に生かすことのできる曲目を探すことである。よって、(1) 家庭での娯楽のための CD (2) リスナーを子ども及びその家族と想定している CD (3) 歌い手ではなく曲目を重視した CD といった特徴を持つ CD を選択した。その結果、以下の 5 つのシリーズを調査対象とした。

(1) こぐまちゃん シリーズ (日本コロムビア)

2011 年 1 月 19 日発売

全 4 タイトル中、「たのしい ABC ソング」を除外した下記 3 タイトル

「こぐまちゃんの どうよう あいうえお」

COCX-36590-1

「こぐまちゃんの だいすき こどものうた」

COCX-36592-3

「こぐまちゃんの まいにちソング」

COCX-36594-5

(2) ミッフィー は・じ・め・て シリーズ (キングレコード)

2012 年 3 月 07 日発売

全 5 タイトル中、「えいご」「クラシック」を除外した下記 3 タイトル

「ミッフィー は・じ・め・て どうよう」

KICG-8714

「ミッフィー は・じ・め・て うたうた」

KICG-8715

「ミッフィー は・じ・め・て あそびうた」

KICG-8716

(3) ショコラちゃんとうたおう シリーズ (日本コロムビア)

2013 年 1 月 23 日発売

全 4 タイトル中、「えいごのうた」を除外した下記 3 タイトル

「ショコラちゃんとうたおう あそびうた」

COCX-37783-4

「ショコラちゃんとうたおう こどものうた」

COCX-37785-6

「ショコラちゃんとうたおう どうよう」

COCX-37787-8

(4) ベスト シリーズ (日本クラウン)

2013 年 7 月 3 日発売

全 6 タイトル中、「えいごのうた」を除外した下記 4 タイトル

「こどものうた～パンパパ・パン／モンスターアップ～」

CRCD-2433

「こどものうた～ドコノコノキノコ／新幹線でゴー！ゴ・ゴー！～」

CRCD-2434

「よいこのどうよう～アイアイ／もりのくまさん～」

CRCD-2435

「よいこのどうよう～いぬのおまわりさん／ぞうさん～」

CRCD-2436

(5) ジャッキーといっしょ シリーズ (キングレコード)

2013 年 3 月 13 日発売

全 6 タイトル中、「入学までにききたい！えいごの歌」「教科書にのってるクラシック」を除外した下記 4 タイトル

「かぞくでうたおう！かわいい童謡」

KICG-8721

「ようちえん・ほいくえんでならう歌」

KICG-8722

「みんなだいすき！こどもの歌」

KICG-8723

「みんなでたのしむ！あそびうた」

KICG-8725

奇しくも、5 シリーズ中 4 シリーズがキャラクターをジャケットにあしらった商品となった。内容がオーソドックスなものをという観点で分析対象を選んだのだが、オーソドックスな定番楽曲を収録した CD はコンセプトに斬新さを出すことができない分、ジャケットで目をひくためにデザインにキャラクターを用いたのであろう。

調査対象楽曲数は下記のとおりである。

(1) こぐまちゃん シリーズ 160 曲 (全 165 トラック、5 曲が 2 回収録)

(2) ミッフィー は・じ・め・て シリーズ 80 曲

(3) ショコラちゃんとうたおう シリーズ 151 曲 (全 150 トラック、内 1 トラックが 3 曲のメドレー、2 曲が 2 回収録)

(4) ベスト シリーズ 100 曲

(5) ジャッキーといっしょ シリーズ 125 曲

調査の結果は別表 1 の通りであった。5 シリーズに共通して収録されている楽曲は、下記 11 曲である。

アイアイ／おばけなんてないさ／おべんとうばこのうた／おもちゃのチャチャチャ／サッチャン／さんぽ／ぞうさん／とんとんとんとんひげじいさん／とんぼのめがね／もりのくまさん／やまのおんがくか

また、4 シリーズに収録されている楽曲は、下記 22 曲である。

いとまきのうた／いぬのおまわりさん／うみ／おおきなくりのきのしたで／おおきなたいこ／おはなしゆびさん／かたつむり／かわいいかくれんぼ／グーチョキパーでなにつくろう／げんこつやまのたぬきさん／ごひきのこぶたとチャールストン／こぶたぬきつねこ／証城寺の狸囃子／すいかの名産地／ねこときどきらいおん／バスごっこ／バスにのって／パンダうさぎコアラ／ぶんぶんぶん／棒が一本あったとき／やきいもグーチャーパー／やぎさんゆうびん

今回分析した CD は 5 シリーズのみであるが、この 5 シリーズから見えてくる定番楽曲はこれら 33 曲である。世代をこえて親しまれている童謡が多く含まれており、本学の教材として用いている楽譜集との重複も多い。一方で、教材には載っていない新しい楽曲も含まれており、今後の授業に積極的に取り入れていきたい。

「バスにのって」や「ねこときどきらいおん」は、NHK E テレで放送されている長寿番組「おかあさんといっしょ」で、最近紹介されたあそび歌である<sup>(1)</sup>。特に、「ねこときどきらいおん」は 2011 年初出と最近の歌であるが、ここまで定番化しているのは特筆すべきであろう。

また、今回とりあげた CD シリーズ全てにあそび歌がふんだんに収録されており、あそび歌の人気のうかがえる。実際、上記に挙げた 33 曲の中にも下記のあそび歌が含まれている。

いとまきのうた／おおきなくりのきのしたで／おはなしゆびさん／おべんとうばこのうた／グーチョキパーでなにつくろう／げんこつやまのたぬきさん／こぶたぬきつねこ／すいかの名産地／とんとんとんとんひげじいさん／ねこときどきらいおん／バスごっこ／バスにのって／パンダうさぎコアラ／棒が一本あったとき／やきいもグーチャーパー

あそび歌は実習や現場でのニーズが高いが、このような CD に多数収録されていることから、家庭でも人気だということがうかがえる。シンプルな歌も多く、音楽の授業の中で取り上げて歌唱練習をする機会が少かったが、今後はもっと比重を置いて取り上げる必要があると考えた。

#### 4. まとめ

どのような楽曲が CD に収録されて一般の家庭や園で楽しまれているかが、前節で明らかになった。頻繁に登場する楽曲の多くは、既に本学の授業でとりあげている楽曲であった。しかしながら、定番楽曲でありながら本学で用いている教材に掲載されていない楽曲や、誕生して間もない新しい人気曲もあり、保育者をめざす学生の指導のために大いに参考になるデータを手に入れることができた。

子どもの歌の中には世代を越えて長く親しまれている楽曲も多い。一方で、テレビの幼児向け番組やアニメ番組などから、現代の子どもたちの感性に合った新しい楽曲がどんどん生まれている。多くは一時の流行として忘れられていくが、継続的に子どもに愛されていく名曲もある。保育者養成校においては、昔から愛されている子どもの歌だけでなく、新しく定番化している楽曲も紹介することで、保育現場のレパートリーとの乖離がないよう指導していく必要がある。そしてまた、学生に対してただ楽曲を教えるだけでなく、常に新しい情報に対するアンテナをのばして良い楽曲を積極的に取り入れる姿勢を育てることが大切である。それにより、学生たちが子どもの音楽体験をより豊かなものにしていく工夫を絶やさない保育者へと成長するだろう。

(1) 「バスにのって」は、「おかあさんといっしょ あそびだいすき！」で 2005 年に登場。「ねこときどきらいおん」は、「おかあさんといっしょ」で 2011 年に登場。

## 第2章 歌唱指導の視点から

### 1. はじめに

保育・幼児教育の現場における表現活動において音楽活動は、様々の場面で行われている。音楽活動の中でも“うたう”活動は中心的活動であろう。“うたう”ことそのものを目的としたり、他の活動の導入や補助的役割として行われたり、様々な場面で高い頻度で行われている。

いくつかの保育所や幼稚園へ訪問した際に、子どもたちの様々な歌声や歌の片りんに会う経験をする。それは子どもたちの家庭や園での環境から育まれたものであろう。それが意図的に育まれたものであっても、意図的でないものであっても、子どもへの影響力には違いない。よって保育者の歌唱が環境として幼児に与える影響力は大きい。

しかしながら保育・幼児教育の現場でよく耳にする子どもの歌声は、張り上げ声や怒鳴り声が多いと感じる。その原因として考えられるのは、保育室が騒々しいことや、その中で保育者が聞こえるようにと大きな音でピアノを弾き、大きな声で歌っていることが影響しているのではないかと感じる。そして子どもは、大きな声は元気な声であり、大人から褒められることとして認識しているのではないだろうか。また、保育者が「美しい響きの声」に対する具体的なイメージを持っていないことも要因の一つであると考えられる。保育者自身が「美しい響きの声」の認識を持ち、自身が体得していれば、子どもの「音環境」も変化するであろうし、子どもの歌唱指導においても要求する方向が変化するであろう。

よって保育者の歌唱力が幼児にとっての「音環境」の一つと考えることが出来る。本稿では保育者としての歌唱表現力を育むために必要なことを考えていきたい。

### 2. 学生の実態

近年、保育者養成校への入学生の音楽経験者は減少傾向にあるという事をよく耳にする。特にピアノ初学者の増加が顕著であると言われている。本学短期大学部児童教育学科在学生においての短期大学入学前の音楽経験者は65%である。細かく分類すると、ピアノ経験者は52%、合唱経験者10%、吹奏楽経験者30%である。<sup>(2)</sup>

高等学校までの学校で行われる教科音楽の授業において、歌唱することは必ず教育されてくることであるが、その歌唱指導のレベルは様々である。その学校が歌唱指導（主に合唱）にどれだけ力を注いでいるか、また音楽

教員の専攻等にも関わってくる。

本学短期大学部の授業を担当して感じていることは、歌うことが好きな学生が多いという事である。しかしこれまでの学生自身の経験から、歌うことに対して悲観的な捉え方をしている学生がいるのも確かである。また、歌うことに関して積極的な姿勢を見せるも、正しい方向性の発声をしている学生は少ない。

ただ単に声を出すことは容易である。歌うことは身一つで音楽を奏でる事が出来るという物的制限が無く、簡単にメロディーを楽しむことが出来、言葉というメッセージを同時に伝えることも出来る。よって歌うことを楽しんでいる学生は多い。歌うことは、人間の本質的な快楽であるからであろう。

しかし子どもたちの「音環境」としての歌声や、「模範唱」としての歌声を習得するのは、ピアノ技術の習得と同じくらの時間と労力を必要とするのではないかと考える。

幼児教育で対象とするようなこどもの声域と、学生の声域が当然ながら異なるために、学生の声楽指導には気を付けなければならない点も出てくるのである。

### 3. こどもの歌における声域

本学短期大学部児童教育学科1年生(67名)の幼稚園実習において、実際に園で歌われていた伴奏付きの歌唱曲についてアンケート調査を実施した。実習期間は平成25年11月18日(月)～11月22日(金)〔1週間〕、アンケート調査は平成25年11月25日に実施した。

このアンケート結果から実際の幼稚園で歌唱されている曲は、毎日の園生活に関係するもの(朝の歌、おべんとう〔給食〕、お帰りの歌など)に加え、秋の曲や行事のクリスマス関係の曲が多く見られる。これは実習期間が11月中旬から下旬であったためだろう。

音域は $c^1 \sim c^2$ が最も多い。音域の最高音は曲の盛り上がりで使用するケースが多い。また幼児の声域は三歳児で $a \sim a^1$ 、四歳児で $b \sim c^2$ 、五歳児は $a \sim c^2$ (切替一郎、沢島政行 1968)と言われている。

調性はC-durが最も多く、次いでF-durが多い。これはC-durの主音から1オクターヴが子どもの声域内である率が高いためであることと、調号が無いために保育者がピアノを弾きやすいためであろう。またC-durの持つ調性の性質としては素朴で安定感がある。よって純粋な明るい雰囲気が子どもの歌を表現しやすいこともあると考える。次いで多いF-durに関しては、F-durの

(2)アンケート調査は平成25年11月に東海学院大学短期大学部児童教育学科の学生129名(1年生60名、2年生69名)に対して行った。



〔園で実際に歌われていた曲〔手遊び歌は除く〕〕

曲 名	調 性	音 域	件 数
お帰りの歌	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	29
朝の歌	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	27
お弁当（給食）の歌	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	16
まつぼっくり	F :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	13
どんぐりころころ	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	11
さようならの歌	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	8
やきいもグーチーパー	C :	c <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	6
むすんでひらいて	C :	c <sup>1</sup> ~ a <sup>2</sup>	6
ののさま	F :	c <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	6
Good morning to you (Happy birthday)	F :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	6
山の音楽家	G :	d <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	5
きのこ	F :	c <sup>1</sup> ~ b <sup>1</sup>	5
サンタが街にやってくる	C :	h ~ e <sup>2</sup>	5
もみじ	F :	c <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	5
おむねをはりましょ	C :	c <sup>1</sup> ~ g <sup>1</sup>	5
はをみがきましょう	C :	c <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	4
大きな栗の木の下で	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	4
手のひらを太陽に	Es :	b ~ d <sup>2</sup>	3
あわてんぼうのサンタクロース	F :	c <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	3
グッドバイ	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	3
交通安全の歌	C :	d <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	2
おひさまになりたい	D :	d <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	2
クリスマスの歌がきこえてくるよ	G :	h ~ c <sup>2</sup>	2
たき火	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	2
こぎつね	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	2
ほとけさま	G:	d <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	2
赤鼻のトナカイ	D :	d <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	2
まっかな秋	F :	c <sup>1</sup> ~ d <sup>2</sup>	2
曜日の歌	F :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	2
菊の花	C :	c <sup>1</sup> ~ c <sup>2</sup>	2
〔その他〕54 曲（園歌を含む）	—	—	各1

主音と属音が子どもの声域内であり、C-dur よりも若干穏やかではあるが明るい性質であることが理由であろう。ただし F-dur は音程のピッチが下がりやすい難点もある。

#### 4. 保育者養成校での声楽指導に望まれるもの

前述の通り、保育者養成校における入学者は音楽未経験者が年々増加傾向にある。よって音楽経験の少ない学生の歌唱力をどう育むかが課題である。

保育者に求められる声楽の技術としては、①呼吸法・発声法 ②言葉の扱い に大別できると考える。

まず声楽初心者の一番苦勞することが、声区の変換、所謂頭声へのチェンジが出来るかどうか、である。チェンジが出来ないと力で押して発声するため、張り上げ声になってしまう。そのチェンジという視点においては、保育・幼児教育の現場で歌われている歌の殆どがチェンジ無しで歌うことの出来る音域である。この音域は変声期の過ぎた成人の場合、胸声（地声）のまま力で押して声を出せることは確かである。しかし保育の対象としている子どもに無理のない自然な発声を身につかせる為には、大人のチェンジした頭声発声を聞かせる意味は大きい。

この点においては、本学短期大学部児童教育学科1年生の約8割の学生は、声区の変換であるチェンジが出来ると感じている。それは学生の年相応のレベルの歌唱曲を歌唱する場合においてに限られる。この場合、多くは学生のチェンジの音よりも3度以上の高音が出てくる。高音に対する心理的な作用が働くために、チェンジするのである。

しかしチェンジが出来る学生であっても、子どもの歌を歌唱する時はチェンジせずに胸声（地声）のまま歌唱することが多々ある。この場合、子どもの歌の最高音がチェンジよりも低い音であったり、高くてもチェンジよりも精々2度上までであることが多い。つまりチェンジしなくても少し力で押せば声が出る範囲なのである。しかしその張り上げ声は聞く側からは苦しくしんどい。よって比較的音域の狭い子どもの歌を歌唱する際にも、いかに頭声発声を意識出来るかがポイントである。

次に言葉の扱いについてである。日本語の発音はとかく口腔内が狭くなる傾向にある。普段日常会話で使用している言語の為に、歌唱時にも会話時と同様の口腔の形態になり易い。よって会話時と歌唱時の意識の区別が必要である。

また子音の扱いについても留意すべきである。歌声は母音を一つの音に乗せた時に、歌声の響きとなって耳に届く。その響きを美しく安定した響きにするために、母音に付随している子音をも、その音のポジションと同じ場所で発声することが大切である。また音楽の拍と子音の発音がマッチしてしまうと子音は聞こえにくくなる。よって拍よりも前に子音を発音することが望ましい。これは全ての子音を意識するのでは無く、歌詞の要（多くの場合は名詞）の最初の子音で行う事が重要である。また、この子音の発声の長短、そしてスピードによって言葉の持つ語感を表現することも留意点である。

米山氏は子どもの子音の発達について、子どもは3～5歳頃になると、母音はほぼ発音出来るようになるが、正確な母音を作るための器官（舌、口蓋、咽頭など）が発達不十分のため上手く出来ず、完全に出来るようになるのが9歳頃である。また子音においては、乳幼児が最初に覚えるのが口唇破裂音、摩擦音（バ、パ、マ行）であり、次に歯茎部の破裂音（タ、ダ、ナ行）、摩擦音（サ、ザ行）、はじき音（ラ行）が出来るのが6歳頃、そして舌根と軟口蓋の閉鎖で作るカ行を覚え、子音の全部が完成するのは9歳頃である、と述べている。

学生がこれらの子音の特性を意識しながら歌唱曲を学ぶことは、大変意義のあることであろう。普段から意識する習慣が出来ていれば、現場で実際に歌唱する際にも

無意識に意識出来るのではないだろうか。

また楽曲の形式においては、子どもの歌は1部形式や2部形式、または簡単な3部形式が多い。単純明快な楽曲形式であるが、それを理解し、言葉の扱いを含めた曲想をどう付けるかによって曲が全然違う印象のものになる。

よってこれらを身に付け、子どもたちの良い「音環境」を作るために、保育者養成校の声乐指導では幼児教育の現場で使用される子どもの歌に加え、学生の年齢相応の歌唱曲を扱うことが重要であると考ええる。

保育・幼児教育の現場で「きれいに歌いましょう」という保育者の指導をよく耳にする。その「きれいに歌える」音環境を整えるのが保育者の役割である。

歌唱指導は大きく2つの目的を持っていると考える。一つ目は音楽そのものの楽しさを伝えるということであり、二つ目は音楽を通して何を伝えたいか、ということである。

保育者の考えるその曲の雰囲気や保育者の心が子どもたちに伝わるような、頭声発声や歌い方が出来るか否かが、子どもの「歌」に対する美的感覚を育むことに大きく左右すると考える。子どもたちの音楽への入り口としての歌う行為を、保育者の心地良いしなやかな歌声が、豊かなものへ導いて行くことが出来るような指導法をこれから課題として行きたい。

## 〈参考・引用文献〉

- コーネリウス・L・リード 『ベル・カント唱法』 音楽之友社 1987  
 小林美実編 『こどものうた 200』 チャイルド本社 2008  
 小林美実編 『続こどものうた 200』 チャイルド本社 2012  
 米山文明 『声の呼吸法』 平凡社 2003  
 音楽教育研究会編 『幼児の音楽教育』 音楽教育研究協会 1999

（本稿は高橋と内山で検討を行った上で、第1章を高橋が、第2章を内山が執筆した。）

別表1 子どもの歌 CD 収録楽曲リスト1

曲名	こぐま ちゃん	ミッフィー	ショコラ ちゃん	クラウン ベスト	ジャッキー	合計 収録回数
アイアイ	○	○	○	○	○	5
おばけなんてないさ	○	○	○	○	○	5
おべんとうばこのうた	○	○	○	○	○	5
おもちゃのチャチャチャ	○	○	○	○	○	5
サツちゃん	○	○	○	○	○	5
さんぽ	○	○	○	○	○	5
ぞうさん	○	○	○	○	○	5
とんとんとんとんひげじいさん	○	○	○	○	○	5
とんぼのめがね	○	○	○	○	○	5
もりのくまさん	○	○	○	○	○	5
やまのおんがくか	○	○	○	○	○	5
いとまきのうた	○	○	○	○		4
いぬのおまわりさん		○	○	○	○	4
うみ	○	○		○	○	4
おおきなりのきのしたて	○	○		○	○	4
おおきないこ		○	○	○	○	4
おはなしゆびさん		○	○	○	○	4
かたつむり	○	○		○	○	4
かわいいかくれんぼ		○	○	○	○	4
グーチョキパーでなにつくろう	○	○	○	○	○	4
げんこつやまのたぬきさん		○	○	○	○	4
ごひきのこぶたとチャールストン		○	○	○	○	4
こぶためきつねこ	○	○	○	○		4
証城寺の狸囃子	○	○		○	○	4
すいかの名産地	○	○	○		○	4
ねこときどきらいおん		○	○	○	○	4
バスごっこ		○	○	○	○	4
バスにのって		○	○	○	○	4
パンダうさぎコアラ		○	○	○	○	4
ぶんぶんぶん		○	○	○	○	4
棒が一本あったとき	○	○		○	○	4
やきいもグーチョキパー		○	○	○	○	4
やぎさんゆうびん		○	○	○	○	4
アイスクリームのうた		○	○	○		3
アブラハムのこ			○	○	○	3
あめふりくまのこ			○	○	○	3
アンパンマンのマーチ	○		○	○		3
おしりフリフリ			○	○	○	3
おつかいありさん		○	○	○		3
おなかのへるうた		○	○		○	3
かえるの合唱		○		○	○	3
産のうたのポニョ	○		○	○		3
きらきらぼし		○	○		○	3
こいのぼり		○		○	○	3
公園にいきましょう		○		○	○	3
ことりのうた			○	○	○	3
しゃぼんだま		○		○	○	3
ジューキーズ こうじちゅう!	○			○	○	3
しゅりけんにんじや	○		○		○	3
そうだったらいいのにな		○	○		○	3
たのしいね		○		○	○	3
チューリップ		○		○	○	3
ちょうちよう		○		○	○	3
動物園へ行こう			○	○	○	3
ドコノキノコ	○			○	○	3
となりのトトロ	○		○	○		3
どんぐりころころ		○			○	3
にじ	○		○			3
パジャマでおじやま	○			○	○	3
バナナのおやこ	○	○			○	3
ふしぎなポケット			○	○	○	3
ポロポロポケット	○	○		○		3
むすんでひらいて	○			○	○	3
やさいのうた		○	○		○	3
ヤッホ・ポー	○	○			○	3
勇気100%	○		○		○	3
夢をかなえてドラえもん	○			○		3
ゆりかごのうた		○		○	○	3
～つながりうた～もりのおく	○		○			2
5つのメロンパン		○	○			2
あくしゅでこんにちは	○		○			2
あさいちばんはやいのほ	○				○	2
あしたでんきにな～れ!	○		○			2
ありがとうの花	○				○	2
アルプスいちまんじやく			○		○	2
あわてんぼうのサンタクロース			○		○	2
いちねんせいになったら			○		○	2
いっぽんでもニンジン	○		○			2
いっぽんばしこちょこちょ			○		○	2
いっぽんばしにほんばし			○		○	2
うれしいひなまつり				○	○	2
おーいかばくん	○					2
おおきなふんどけい			○	○		2
おすしすし		○			○	2
おすもうまちゃん		○			○	2
おにのパンツ			○	○		2
おはながわらった				○	○	2
おはよう	○		○			2
おべんとう	○				○	2
かえるのうた	○		○			2
かめの遡足	○		○			2
カレーライスのうた			○		○	2

曲名	こぐま ちゃん	ミッフィー	ショコラ ちゃん	クラウン ベスト	ジャッキー	合計 収録回数
北風小僧の寒太郎	○			○		2
きみのこえ		○			○	2
クラリネットをこわしちやった			○	○		2
このゆびとまれ		○			○	2
コロソハツ	○	○				2
コンコンクシャンのうた			○	○		2
さよなら ぼくたちのようちえん			○		○	2
しあわせならてをたたこう		○	○			2
しままグルグル			○	○		2
じゅげむ	○		○			2
世界中のこどもたちが	○		○			2
せんせいとおともたち	○				○	2
線路はつづくよ どこまでも				○	○	2
それがともだち		○			○	2
たなばたさま				○	○	2
たんじょうび(たんたん誕生日)	○				○	2
小さな世界	○		○			2
チキ・チキ・パン・パン	○		○			2
月夜のボンチャラリン				○	○	2
でかけよう!	○				○	2
手のひらを太陽に			○		○	2
てをたたきましょう				○	○	2
でんでらりゅうば	○		○			2
トトのうた	○		○			2
ドレミの歌	○		○			2
ドンスカバンバンおうえんだん	○				○	2
とんでったバナナ	○		○			2
どんな色がすき		○			○	2
七つの子		○		○		2
はじまるよはじまるよ	○		○			2
はじめの一步			○		○	2
はたらくるま・1	○	○				2
ハッピー・バスデー・トゥー・ユー		○	○		○	2
はと		○		○		2
ハハバ			○	○		2
はみがきしようずかな	○				○	2
ばわわたいそう	○		○			2
ピクニック・マーチ	○				○	2
ぼくのミックスジュース	○	○				2
ほっとけきはすてき	○	○				2
まほうのとびら	○		○			2
みいつけた!	○		○			2
ミッキー・マウス・マーチ			○			2
南の島のハメハメハ大王		○		○		2
めだかのがっこう				○	○	2
メリーさんのひつじ	○				○	2
ゆき		○		○		2
『ね』	○					1
星ひとつ	○					1
あ・いう・え・おにざり					○	1
あーんして			○			1
あいうえおはよう	○					1
あおいそらにえをかこう			○			1
青い空に絵をかこう	○					1
あかとんぼ				○		1
あけましておめでとう			○			1
あきおきたん			○			1
あさごはんマーチ	○					1
あしたのあしたのまたあした	○					1
あしたははれる	○					1
あと3センチ			○			1
アビヨンのほしで					○	1
あひるのあかちゃんあいうえお	○					1
あめふり		○				1
アルゴリズムたいそう&こうしん			○			1
アンダー・ザ・シー			○			1
アンパンマンたいそう	○					1
イクイカイルカ				○		1
いっしょうめいのドラねこ			○			1
いろはまつり	○					1
いろんな木の実	○					1
ウィーゴー!			○			1
うさぎさんよくみてね	○					1
うさぎのダンス		○				1
うさぎ野原のクリスマス			○			1
うんどうかいごっこ			○			1
えんそくのうた					○	1
えんぴつがいつぱい	○					1
おいしい おいしい			○			1
おいしいはみがき ちいさいはみがき			○			1
おおきなくちあけて	○					1
大阪うまいもの歌					○	1
おかえりのうた	○					1
おさんぽってきもちがよいね					○	1
おしくらまんじゅう					○	1
おすしのピクニック					○	1
おつきまがついてくる			○			1
おてつだいロボのテーマ	○					1
おてらのおしょうさん			○			1
おトイレ・ソング	○					1
おどるポンポコリン			○			1
おにぎり ぼん!		○				1

子どもの歌唱表現に関する一考察

別表1 子どもの歌 CD 収録楽曲リスト 2

曲名	こぐま ちゃん	ミッフィー	ショコラ ちゃん	クラウン ベスト	ジャッキー	合計 収録回数
おはなし	○					1
おはようクレヨン	○					1
おはようジャッキー					○	1
おふろジャブジャブ	○					1
おふろのうた	○					1
おみせやさんにあるもの				○		1
おもちゃのマーチ				○		1
おんまはみんな					○	1
怪獣のパレード	○					1
風になりたい	○					1
かぞえこ	○					1
かたづけマン	○					1
かめめのすいへいさん				○		1
かわいいミッフィー		○				1
きたかぜこそぞうのかんたろう			○			1
きのこ					○	1
きのほりコアラ	○					1
きみとほくのうらうら			○			1
きみのなまえ					○	1
君をのせて	○					1
キャベツのなかから			○			1
きょうはぼくらのうんどうかい					○	1
きりんさん	○					1
銀ちゃんのラブレター					○	1
ぐーききばー				○		1
くじらのとけい				○		1
くじらのバス				○		1
くつのきょうだい					○	1
グッバー			○			1
くまさんくまさん	○					1
クラスホッパーからの手紙～をれないで～	○					1
クラッパラ!	○					1
グリーン・グリーン			○			1
くるくるっ					○	1
ケンパであそぼう	○					1
こいぬのピンゴ					○	1
こぎつね		○				1
こどもがいっぱいわらってる					○	1
小島たちよ			○			1
ごめくごめく、めんどくさい。	○					1
ごめんな・サイです					○	1
ごろりんたまご					○	1
ごんべえさんのあかちゃん				○		1
さかながはなて			○			1
さくら			○			1
サモア島のうた	○					1
きよならさんかく			○			1
じてんしゃようじょうにはうってつけのひ					○	1
じゃがいも めを だした			○			1
ジャッキーたいそう					○	1
ジャングルポケット		○				1
新幹線でゴー! ゴー! ゴー!				○		1
ずうじのうた	○					1
ずいぞいじゃがいも					○	1
すずめがサンバ				○		1
スッカスカンク				○		1
すてきなババ	○					1
世界の約束	○					1
せっけんさん	○					1
せっけんで手をあらおう	○					1
せんたくものだゆう	○					1
ぞうさんのあくび				○		1
そらとぶくじら			○			1
空より高く			○			1
たこのうた	○					1
だじゃれだゾー			○			1
ただいまのあととは	○					1
たまごとにわとり	○					1
たまごまごまご					○	1
だれにだってお誕生日	○					1
タンポポ団にはいろう!!					○	1
ちいさいあきみつけた			○			1
ちいさいおふね	○					1
ちいさいはたけ			○			1
ちいちゃくおきく	○					1
チュッチュコリ			○			1
ちびっこカウボーイ	○					1
ツッピンとびうお	○					1
てるてるぼうず	○					1
てきたこ				○		1
でんきの子ビリー	○					1
でんしゃがでんでん			○			1
トゥモロー			○			1
とけいのうた				○		1
どこでねるの	○					1
どっちおに			○			1
ドドンバおんど			○			1
トマト	○					1
トムとジェリー			○			1
ともだちいいね					○	1
ともだちさんか			○			1
ともだちだ					○	1

曲名	こぐま ちゃん	ミッフィー	ショコラ ちゃん	クラウン ベスト	ジャッキー	合計 収録回数
ともだちになるために			○			1
ドラえもんのだ				○		1
ドラキュラのうた			○			1
ドラネコロックンロール				○		1
トレロ カモミロ			○			1
ドロップスのうた			○			1
とんとんともだち					○	1
なつうねねばねば			○			1
なにぬねえー	○					1
なべなべそこめけ	○					1
ニャニニョのてんきよほう	○					1
にゅうどうぐも					○	1
にんげんっていいな	○					1
にんげんっていいな			○			1
ネコとネズミ					○	1
ねこのこ			○			1
ねこふんじやった			○			1
ねずみのはみがき	○					1
ねむれいなおかみ	○					1
ハイ・ホー			○			1
はじめてはじめて		○				1
はしるのだいすき			○			1
はすかしがりのサンタクロース			○			1
はたらくるま・2					○	1
はちべえさんとじゅうべえさん			○			1
ぼくも〜も〜も〜		○				1
はるよこい	○					1
バレー			○			1
はをみがきましよう	○					1
パンツのはきかた	○					1
パンのマーチ	○					1
パンパ〜パン				○		1
パンやさんにおかいもの			○			1
ピクニック(1と5で)			○			1
ひつきもつつき		○				1
ひとりでシャンプー	○					1
ひよっこひょうたん島			○			1
ひらいたひらいた	○					1
ビリーブ			○			1
びりびりくらげ					○	1
ふうせんはブン	○					1
ふたごのオオカミ大冒険						1
ペンギンちゃん	○					1
ホ! ホ! ホ!	○					1
ぼかぼかてくてく	○					1
ぼくたちこどもですから			○			1
ぼくたちのうた			○			1
ぼくのかぞえうた	○					1
ぼくらのうた	○					1
ぼくらのロコモーション				○		1
ボジドラタッチ!					○	1
ぼよん行進曲				○		1
マーチング・マーチ			○			1
まつぼっくり	○					1
ママがいないと	○					1
ママのおなか	○					1
マル・マル・モリ・モリ!			○			1
まんまるスマイル	○					1
みつばちぶんぶん	○					1
みらいくとゆめみちゃん	○					1
みんなでいこう!			○			1
みんなとあそぼ			○			1
みんなともだち			○			1
みんなみんなみんな		○				1
虫歯建設株式会社				○		1
むつくりくまさん			○			1
メトロポリタン美術館			○			1
ももたろう	○					1
モンスタップ				○		1
やまがあつて					○	1
やまごやいっけん			○			1
やまのワルツ				○		1
やまびこさん	○					1
ゆうやけこやけ				○		1
ゆきのこぼろず	○					1
よろしくネコのこぼくのネコ	○					1
らりるれろのうた	○					1
ラリルレロボット	○					1
りんごおきくなあれ	○					1
れんこんさんがかぜひいた	○					1
ロンドンばし	○					1
わ!	○					1
わ〜お!		○				1
私と小鳥と鈴と	○					1
ワニのかぞく			○			1
わらいかわせみにはなすなよ				○		1
わらいごえっていいな		○				1
をがいっぱい	○					1
ん…?のうた	○					1